

健康保険組合愛知連合会
データヘルス共同事業

HORP愛知共同事業版 OPEN HORP AICHIについて (オンライン対応版)

2025年1月

目次

1. 事業概要（H O R P 愛知）
2. 個別事例(昨年度公募事業より)
3. まとめ

提案概要

保険者の保健事業を、
「街の保険薬局」の活用を通じて支援

保険者連携プログラム（通称：HORP）

保険者

保険薬局
薬剤師会



薬局（薬剤師）を活用した
新しい保健事業

特定保健指導ではない
服薬者を中心とした
健康支援

薬局における現状とあるべき薬局像

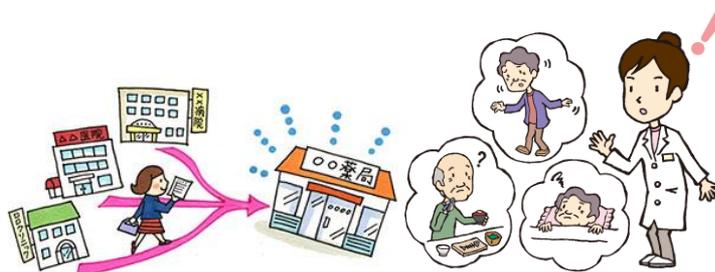
現状

あるべき薬局像

立地・対物業務



機能・対人業務



薬や日々の健康、
体の不調・変調等につ
いて安心して相談
できる場所

HORP

への参加をきっかけに

医療機関に隣接しており、便利さだけで患者に選択されている

薬剤の調整など対物中心の業務であり、薬の説明のみに留まっており、患者とのコミュニケーションがとりにくい

カウンターで忙しく、淡々と薬の説明をしていて、なかなか相談できない

服薬情報がバラバラで、患者の残薬や多剤・重複に気づきにくい

薬剤師としての専門性や24時間・在宅対応等、住民・患者ニーズに対応し選ばれる薬局

患者・住民との関わりの度合いが高い薬局（対人業務へ）

服薬情報が一つにまとまり、飲み合わせの確認や残薬管理等で安心できる

かかりつけ医等との連携

かかりつけ薬局へ
かかりつけ薬剤師

期待できる効果

課題

前期高齢者

多剤投与・重複
後発品促進

服薬者への保健指導

アプローチ

医療費適正化指導

服薬指導

生活習慣指導

Output

参加者の行動変容

Outcome

- ✓現在の医療費の抑制
- ✓将来の医療費の抑制
- ✓後発薬普及率の向上

薬局利用によるメリット

現状の保健指導

医療機関・健診機関や、対象者の
自宅、勤務先（会社）を利用
時間的な制限

保健指導者は殆どが初対面
会社の保健師は心理的
ブロックとなり参加率が低迷

ワンストップサービス
次年度対象とならない限り終了
(数字改善が見られない場合)

薬局での保健指導のメリット

アクセス便利な「街中」

- ・ 会議室確保の不要
- ・ 17時以降、土曜日（一部日曜）も可能
- ・ 参加薬局増により利便性向上
(将来的には、全国約20,000薬局)

安心感、信頼関係による 行動変容の促進

- ・ 普段から利用している薬局
- ・ 顔見知りの薬剤師

継続的、自主的な指導

- ・ 指導終了以降も、薬局を気軽にかつ自主的に健康相談拠点として活用。結果、健康的な生活を送ることに繋がる可能性あり

HORP指導薬局について

愛知県を中心として

- 首都圏：東京・神奈川
- 北関東：群馬・茨城
- 関西：大阪・兵庫・滋賀
- 九州：福岡

主要都市を中心に全国に存在

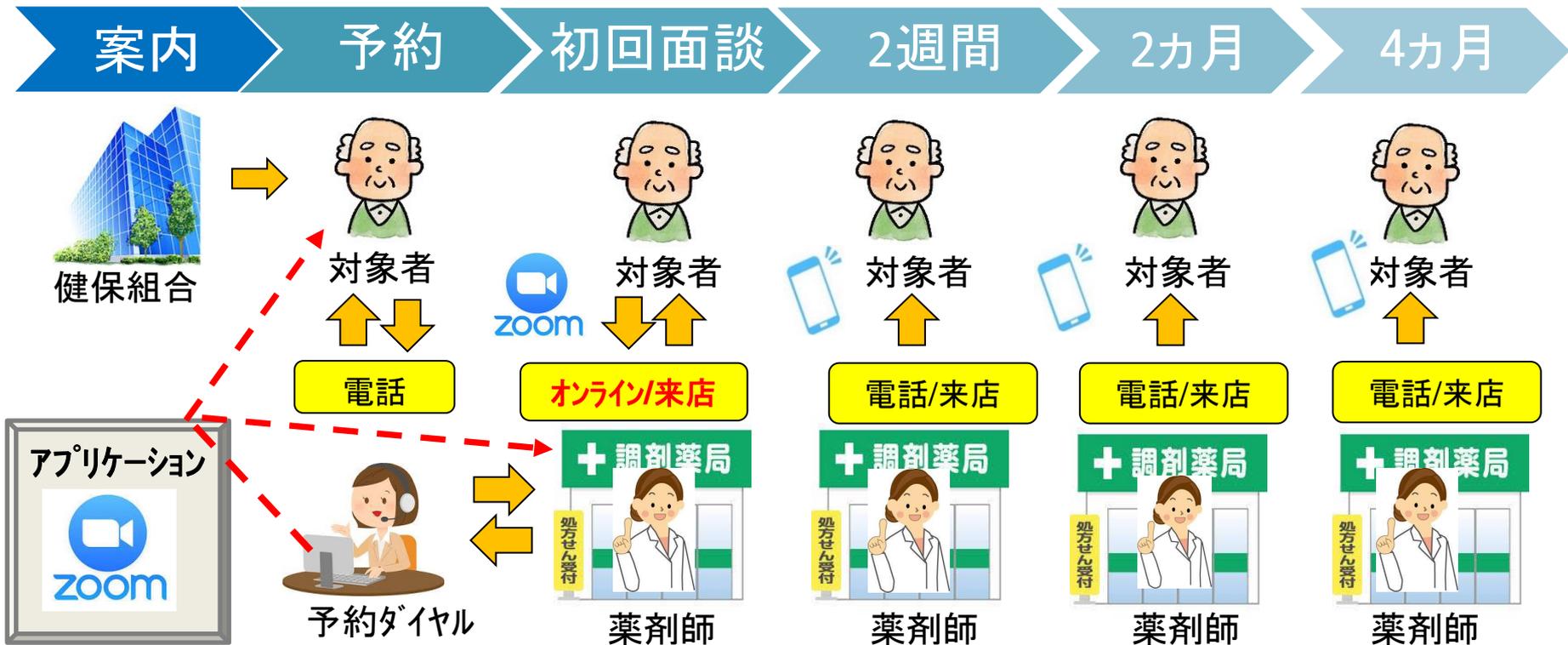
愛知県の場合



参加薬局が少ない地域は実施前に追加で薬局募集を実施

HORP サービスフロー

- ・ 予約専用のフリーダイヤルを開設し、日程調整を行います。
- ・ 対象者は、初回面談時に「オンライン」か「来店」の選択が可能（オンライン面談は、「ZOOM」を採用）
- ・ 対象者は、初回面談以降で希望すれば近隣の薬局（近くにない可能性もある）での対面での指導に切り替えることが可能です。（ * 指導料の問題があり、同じ薬局で対応）



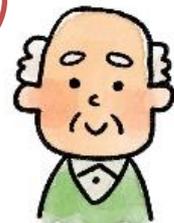
<ul style="list-style-type: none"> ・電話で日程調整 ・対面 or オンラインを選択 	<ul style="list-style-type: none"> ・初回面談 ・支援計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続支援 ・実践状況確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続支援 ・実践状況確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・実績評価 ・効果の確認
--	--	--	--	---

HORP参加者の申込方法と流れ

1. 電話で面談日時を予約

案内状にある『指導薬局一覧』に電話あるいは来店し、
健保名、ID番号(案内状に記載)、希望日時をお伝えします

●月●日の
 14時に面談したい
 のですが

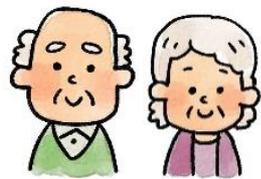


2. 面談日当日(来局の場合)

ご用意いただくもの

- ・健保からの案内状
- ・健康保険証
- ・お薬手帳
- ・健診結果や検査結果 など

検査項目	基準値/単位	今回結果	201516	201417
身長	m	174.5	174.4	175.7
体重	kg	58.1	56.5	55.9
BMI	kg/m ²	19.1	18.5	18.1
血圧	mmHg	101/69	101.5/69.9	99.8/67.9
空腹血糖	mg/dL	96.7	96.9	97.8
HbA1c	%	5.7	5.7	5.7
脂質	mmol/L	185-249	284	278



夫婦での来店も可能

※ご本人確認のため、健康保険証を持参いただいています

※生活習慣改善にはご家族で取り組む必要があることから、面談にはご夫婦での出席も可能としています

3. 電話/来店によるフォローアップ(3回)

予め、お電話する日程を決めることも可能です。連絡先を面談時にお伝えします。
 行動目標に対する定着度を、電話/来店で確認いたします

HORP(薬局での保健指導)の特徴

薬剤師（栄養士）がマンツーマンで4か月間サポートします

薬剤師（栄養士）との面談

- ・ 現状把握
- ・ 目標設定
- ・ 生活アドバイス
- ・ 服薬相談（お薬手帳）
- ・ 食事相談
- ・ 身体の状態に合わせた薬との付き合い方



初回面談は、マンツーマンで30分～1時間程度

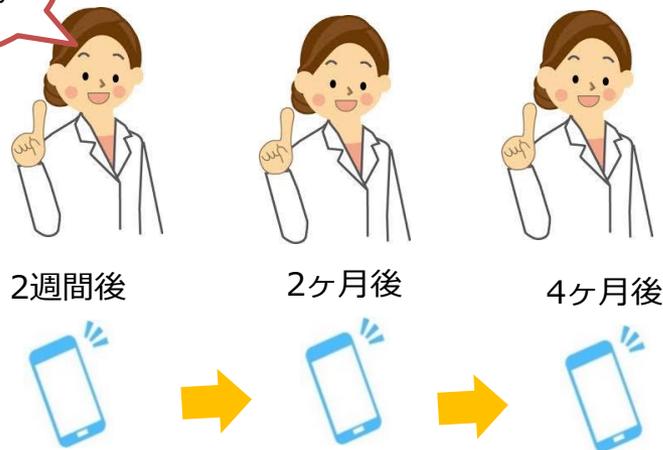
- 対面ではプライバシー保護のため
 - ・ パーテーション
 - ・ 個室（休憩室）
 - ・ 店舗の閑散時間（閉局時間）
- に対応するよう工夫

その後
いかがですか

継続をサポート

計画に沿って、生活習慣等を改善します

薬剤師が定期的に電話で目標継続をサポートします



ゴール 4か月後

目標達成（定着度）、各種数値の改善を確認します

「報告シート」での報告事項

HORP愛知専用		HORP愛知専用 報告シート (薬局→薬研)		報告先: info@ripp.co.jp	
薬局名		薬局住所			
担当薬剤師		電子メール			
保険者から本人に送られた案内状に記載		性別	生年	保険者名(健保名)	
ID			年		健康保険組合
CONTACTのあった日		年	月	日	
面談予定日時		年	月	日	時 分
面談日		年	月	日	時 分
1. ■現在の健康状態と課題■ Step1「現状はどうですか？」		面談時に服薬中のお薬後発?		※自己申告 初回面談時	
2. ■目標■ /いつまでに何をするか Step1「どのような健康を手に入れたいですか？」				体重 Kg 腹囲 cm 血圧 / HDL mg/d 中性脂肪 mg/d LDL mg/d HbA1c % 尿酸 mg/d γ-GT U/L †指導する項目は必ずヒアリング	
※ 上記の目標を達成するために以下、行動目標を必ず3つ立ててください					
行動計画一覧 A~Fから選択	行動目標①	行動目標②	行動目標③		
3. ■目標達成のため自分のできること・プラン■ Step3 「目標達成のためにあなたは何かができますか？何をやりますか？」					
4. ■薬剤師からのアドバイス■ Step4 「サポートできることは何ですか？」					
5. ■電話のフォローアップ■ (行動目標①~③のそれぞれについて、達成度および、その理由と具体的なアドバイスについて記入)					
2週間後		2か月後		4か月後	
達成度(一つ選ぶ)	0% 25% 50% 75% 100%	達成度(一つ選ぶ)	0% 25% 50% 75% 100%	達成度(一つ選ぶ)	0% 25% 50% 75% 100%
理由		理由		理由	
薬師師名		薬師師名		薬師師名	
6. ■最終評価■ (2. で立てた目標に対する評価を記載)					
薬剤師からの総括コメント		指導終了時のお薬 後発?		※自己申告 指導終了時	
薬局記入欄				体重 Kg 腹囲 cm 血圧 / HDL mg/d 中性脂肪 mg/d LDL mg/d HbA1c % 尿酸 mg/d γ-GT U/L	

	行動改善計画の一覧表 (以下から3つ選び、 具体的な行動目標をさらに設定)
A	食事に関する生活習慣を改善する。
B	運動に関する生活習慣を改善する。
C	睡眠に関する生活習慣を改善する。
D	その他の生活習慣を改善する。
E	服薬に関する習慣を改善する。
F	医療費の使用に関する習慣を改善する。

「報告シート」での報告事項

	改善する行動	主な内容
A	食事に関する生活習慣を改善する	<ul style="list-style-type: none"> ・甘いものや脂肪分の多いものを食べる量を減らす ・塩分を減らす ・栄養のバランスを改善する ・アルコールを減らす ・食べ方を改善する(不規則な食事時間、咀嚼回数、等)
B	運動に関する生活習慣を改善する	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキングやジョギング等の軽い運動を行う ・日常生活の中で運動を取り入れる(車での移動を減らす等) ・運動するようなモチベーションを高める(歩数計を持ち歩く、毎日体重計測する等) ・テレビ視聴等の「動かない時間」を減らす
C	睡眠に関する生活習慣を改善する	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活をおくる ・昼寝を減らす ・質の高い睡眠を得るために生活習慣を改善する(日中の活動の増大、飲酒の減少、等)
D	その他の生活習慣を改善する	<ul style="list-style-type: none"> ・タバコをやめる
E	服薬に関する習慣を改善する	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬している薬それぞれの狙いや効能等を把握するよう、薬剤師と相談する ・薬を飲み忘れないような工夫を、薬剤師と相談する ・自分の判断で薬を飲んだり飲まなかったりせず、薬剤師と相談する ・薬局を一つにまとめる
F	医療費の使用に関する習慣を改善する	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ通常の診療時間等の範囲で診察や薬の受け取りを受ける ・後発医薬品を服用する ・残薬について薬剤師と相談する(今ある残薬をどうするか。また、今後、残薬が発生しないようにするために。) ・症状によっては、市販薬を使えるか、薬剤師と相談する

「報告シート」での報告イメージ

HORP愛知専用		HORP愛知専用 報告シート (薬局→薬研)				報告先: info@ripp.co.jp	
薬局名	YAGEN薬局			薬局住所	東京都〇〇区〇〇町1-1-1		
担当薬剤師	薬事 政子			電子メール	XXXX@com		
保険者から本人に送られた案内状に記載		性別	生年		保険者名(健保名)		
➔ ID	11111		女	1950	年	AAAA 健康保険組合	
➔ コントラクトのあった日	2018	年	3	月	11	日	面談予定日時
					2018	年	3
					月	13	日
					15	時	00
					分		
面談日	2018	年	3	月	13	日	15
							時
							分
					15	時	15
					分	~	16
							時
							20
							分
							迄
1. ■現在の健康状態と課題■ Step1「現状はどうですか？」		Step2「どのような健康を手に入れたいですか？」		面談時に服薬中のお薬 後発?		※自己申告 初回面談時	
血圧は昔から高く、5年前からミカルデイスを飲んでる。また、エバデールS600を追加服用開始した。時々薬の服用を忘れる。 退職してからは、地域のグラウンドゴルフコンペに参加。 食生活は、妻の手料理をいつも食べているが、炭水化物が多め、野菜が少なめ。		①血圧・脂質が高いので、食事を特に気を付けた生活をする。血圧は130/80台を目標とする。 ②体重を70kg以下にまで減量する。 ③薬の飲み忘れを防ぐ。後発品を積極的に採用する。		ミカルデイス エバデール アムロジピン		体重 72.9 Kg 腹囲 84.0 cm 血圧 140 / 90 HDL 45 mg/dl 中性脂肪 111 mg/dl LDL 177 mg/dl HbA1c 6.1 % 尿酸 mg/dl γGT U/L	
						↑ 指導する項目は必ずヒアリング	
※ 上記の目標を達成するために以下、行動目標を必ず3つ立ててください							
行動計画一覧 A~Fから選択	行動目標①		行動目標②		行動目標③		
	A		B		E		
具体的な行動(右の「行動事例」を参考に 入力)	塩分を減らす		運動するようなモチベーションを高める		薬を飲み忘れの防止		
3. ■目標達成のため自分でできること・プラン■ Step 3「目標達成のためにあなたは何ができますか?何をやりますか?」							
具体的に 何をいつのよう どんな頻度で どうするかを詳しく 現状 → 目標 定量的に記す	無塩の野菜ジュースを毎日飲む習慣を付ける。 一日の摂取塩分量を決めて守る。 味噌汁や麺類の汁等は飲み干さず、半分以上残す。 鍋のメの雑炊も半分以上残す。		歩数計を持ち歩く。平均8000歩/日を目標にする。 週3~4かいのグラウンドゴルフを行う。 多の日はあまり運動しないため、普段の生活の中でも 階段を利用した運動を意識する。		薬を飲み忘れる回数を減らす。 食直後に飲む習慣を付ける。 自己判断で服薬量を調整しない。 服用している薬の効能が曖昧なため、理解を深め、正しい服用を心がける。 後発品に変更できるものは変更する。		
4. ■薬剤師からのアドバイス■ Step 4「サポートできることは何ですか?」							
3. を達成するため 具体的なアドバイス	奥様の手料理は炭水化物多めであるため、手ごろに摂取できる野菜ジュースを勧める。		モチベーションを高めるため、歩数計を持ち歩くよう勧める。 冬場は、汗をかかないためウォーキングを欠かさず取り入れることアドバイス。		対面指導で、薬の効能・作業機序、医師の処方意図、服用継続の意義を、理解してもらった。 GE変更エバデール→エハロス錠カプセル 73.2円→30.4円、ミカルデイス→テルミサルタン40mg 115円→46円、薬代月3,050円→1,250円 1,800円削減できるとも説明		

行動目標に対する定着度評価基準

- 薬局ごとに、参加者の決めた「行動目標（A～F）」（最大3つ）に対し、4か月後の定着度の評価は以下の5段階評価です。（%で報告）

5段階評価		%
5/5	実行できている	100%
4/5	概ね実行できている	75%以上100%未満
3/5	時々実行できている	50%以上75%未満
2/5	ほとんど実行できていない	25%以上50%未満
1/5	実行できていない	0%以上～25%未満

行動目標の定着度と評価の報告イメージ

- 参加者の決めた「行動目標（A～F）」（最大3つ）に対し、2週間後、2か月後、4か月後の定着度および行動変容、検査値等の変化について報告

5. ■電話のフォローアップ■（行動目標①～③のそれぞれについて、達成度および、その理由と具体的なアドバイスについて記入）																						
2週間後		達成度（一つ選ぶ）	0%	25%	50%	75%	100%	達成度（一つ選ぶ）	0%	25%	50%	75%	100%	達成度（一つ選ぶ）	0%	25%	50%	75%	100%			
2018	年	理由						理由						理由								
3	月	野菜ジュースを毎日200ml飲んでいる。味噌汁や麺類の汁は毎日残すよう心掛けている。						歩数計を持ち歩き、歩数を確認している。家にいる日は数百歩だが、グランドゴルフの日は8000歩以上歩いている。						現在服薬中の薬は自分にとって必要な薬なので、飲み忘れないよう気を付けるようになった。後発品にできるものは変える。								
27	日																					
18	時	アドバイス						アドバイス						アドバイス								
薬剤師名	140-160台だった収縮期血圧がこの1週間では130台に下がっていて喜んでいる。引き続き無理の無い範囲で実行を薦める。							歩数を自覚することで、運動を継続することのモチベーションが高まっていると感じられる。激励と運動継続を助言。						本人が服用薬の重要性を納得した上で服用するようになったと感じられる。自己判断で調整せず、毎日の服用継続を指導。後発品を積極的に採用する								
薬事	政子																					
2か月後		達成度（一つ選ぶ）	0%	25%	50%	75%	100%	達成度（一つ選ぶ）	0%	25%	50%	75%	100%	達成度（一つ選ぶ）	0%	25%	50%	75%	100%			
2018	年	理由						理由						理由								
4	月	野菜ジュース継続。体重増加せずキープ、毎日実行。						少しずつ体重が減ってきた。多い日は10000歩以上歩いている。足腰の調子も良く、歩くのが楽しい。						副作用もなく、後発品も自分に合っていると感じている。薬を忘れて調整したりもしていない。								
15	日																					
18	時	アドバイス						アドバイス						アドバイス								
薬剤師名	血圧は130台をキープ。塩分摂取量も守れている。							足腰を鍛えるのは良いが、無理しないで継続するよう指導。歩きすぎた日は、お風呂等でマッサージやストレッチするよう指導。						薬代が節約できたことによって、本人の負担軽減に加えて、日本全体の医療費削減にも貢献したことを説明。								
薬事	政子																					
4か月後		達成度（一つ選ぶ）	0%	25%	50%	75%	100%	達成度（一つ選ぶ）	0%	25%	50%	75%	100%	達成度（一つ選ぶ）	0%	25%	50%	75%	100%			
2018	年	理由						理由						理由								
7	月	体重管理を維持している。						減量のおかげでウォーキングを日課として行うようになった。1万歩目標に歩いている。						定期的な受診を心がけ、検査値も気にしながら生活している。薬を飲み忘れることはなくなった。								
20	日																					
18	時	アドバイス						アドバイス						アドバイス								
薬剤師名	高血圧症、脂質異常症の合併症について質問されたので説明した。（発症確率と症状）							体重が67.1kgになった。減量のおかげで更に歩数も多くなっている。1万歩を目標に継続するよう指導。						血圧は変動しやすいので、一喜一憂せず、現在の服用を続けていくことが重要と指導した。								
薬事	政子																					
6. ■最終評価■（2. で立てた目標に対する評価を記載）															指導終了時のお薬		後発？		※自己申告		指導終了時	
薬局 記入 欄	薬剤師からの総括コメント														ミカルディス	Ge	体重	67.1	Kg			
	体重減少（-5.8kg）、腹囲減少（-7cm）、血圧安定（149⇒129）を達成。自らの達成感で、ウォーキングを日常に採用し健康意識も高まった。薬は後発品を積極的に採用し、薬代を毎月1800円節約でき、大変満足されている。														エバデール		腹囲	77.0	cm			
															アムロジピン	Ge	血圧	129 / 73				
																	HDL	68	mg/dl			
																	中性脂肪	108	mg/dl			
																LDL	114	mg/dl				
																HbA1c	6.3	%				
																尿酸		mg/dl				
																γ-GT		U/L				

個別事例 (2018年度公募事業より)

平成30年度高齢者医療運営円滑化等補助金における「レセプト・健診情報等を活用したデータヘルスの推進事業」
愛知県における「街の保険薬局」を活用した加入者の健康支援と啓発事業の概要

2018年8月

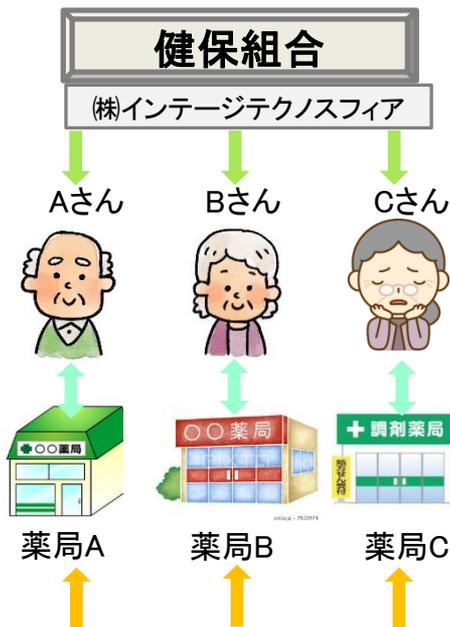
豊島健康保険組合 イノアック健康保険組合 トーエネック健康保険組合
中部日本放送健康保険組合 日本ユニシス健康保険組合 カゴメ健康保険組合

背景及び目的

健保組合が医療費を抑制する上で特に重要となるのは、前期高齢者、プレ前期高齢者及び50歳以上の服薬者への効果的な対策を講ずることである。街の保険薬局を活用することで、この層に対する効果的な指導と啓発を行って加入者の健康状態の維持、疾病の発症や悪化の予防、医療費の抑制、事業の効率化を図る。

実施概要

実施スキーム



1. 健保が委託先等と共に対象者を抽出・選定

3. マッチングされた薬局で、教育を受けた薬剤師が1対1の対面で1時間程度を個別指導

指導の様子



アウトプットは、対象者の行動変容。
対面指導後、4か月間に3回の電話フォローで行動変容の定着確認

2. 委託先が対象者一人一人ごとに、地域の指導実施薬局をマッチング

条件

- ・前期高齢者、プレ前期高齢者及び50歳以上の服薬者
- ・服薬の割に数値改善が遅い
- ・多剤投与、頻回受診
- ・後発医薬品に切り替えない
- ・OTC活用しない
- ・生活習慣の改善が必要

他

対象者

450人程度

指導内容

生活習慣指導 / 服薬適正化指導 / 医療費適正化指導

アウトプット

参加率、実施率、満足度、行動変容の定着度

アウトカム

健診数値の改善、医療費の抑制

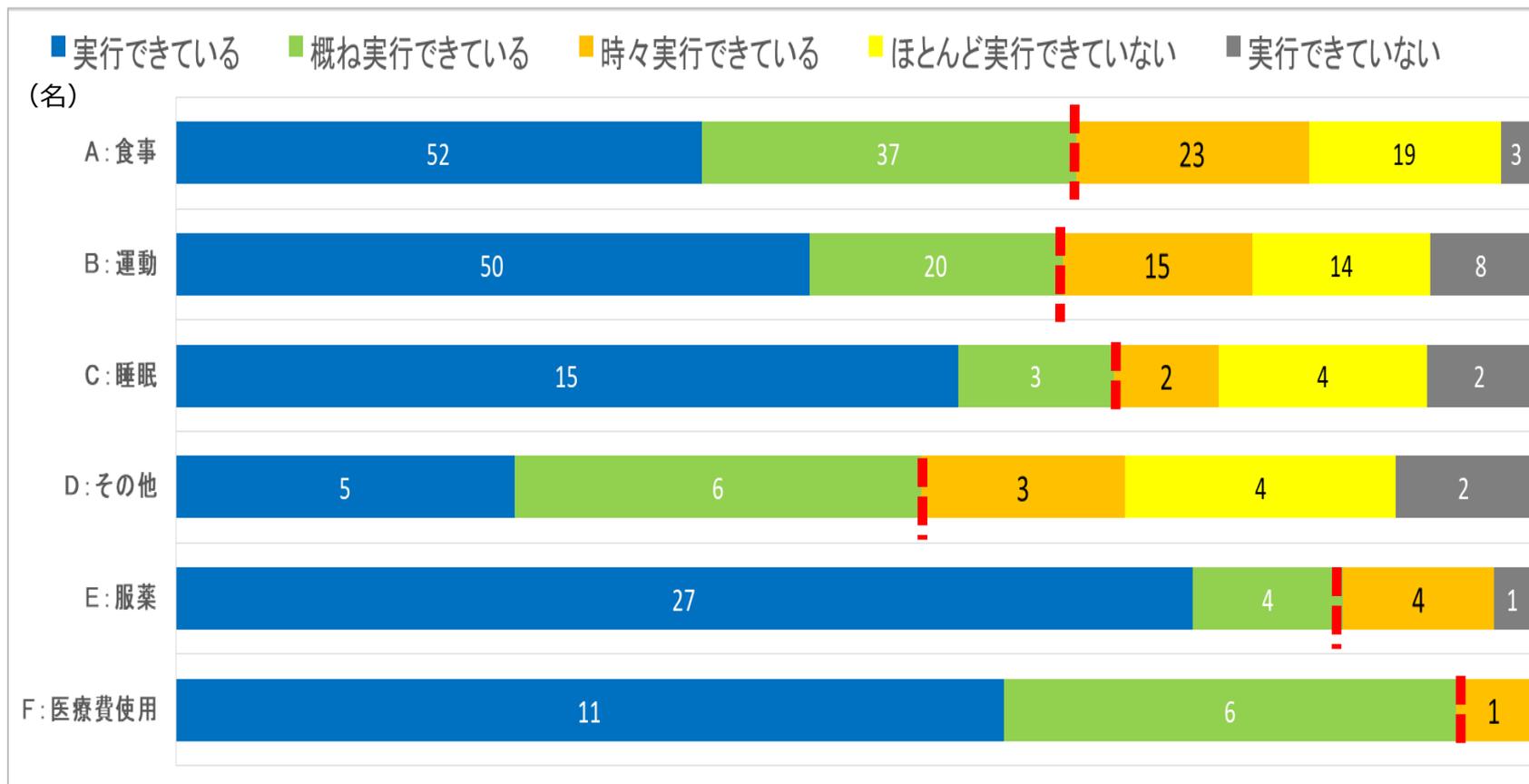
参加者の状況：対象者および参加者数

募集および指導期間	2018年9月～2019年2月	
1回目	実施期間	2018年9月～2018年11月
	対象者数	1,299名
	申込者数	131名
2回目	実施期間	2018年12月～2019年2月
	対象者数	1,166名
	申込者数	18名
申込者数	149名	
キャンセル	7名	
参加者数	142名	
愛知県参加薬局数	298薬局（2018年10月時点）	
保健指導実施薬局数	74薬局	

行動変容の定着度

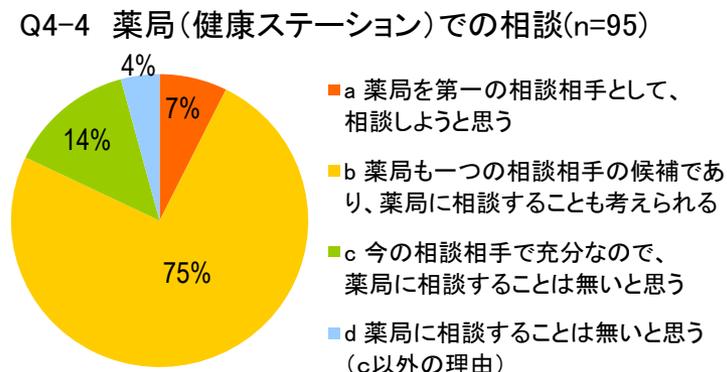
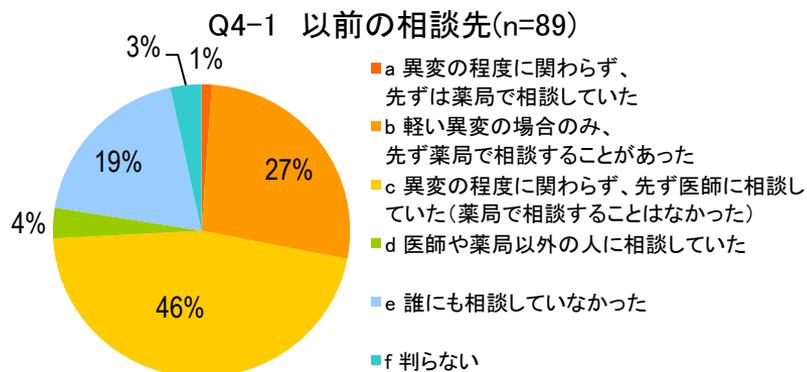
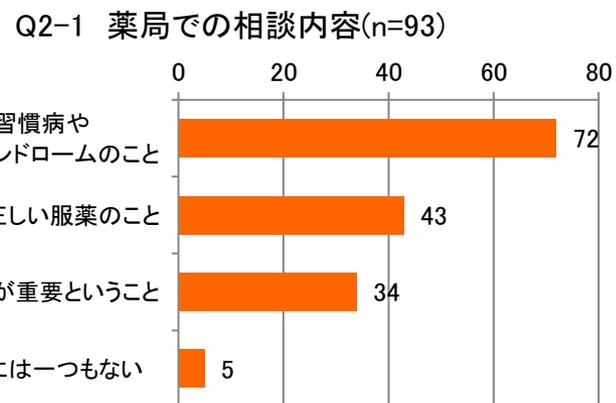
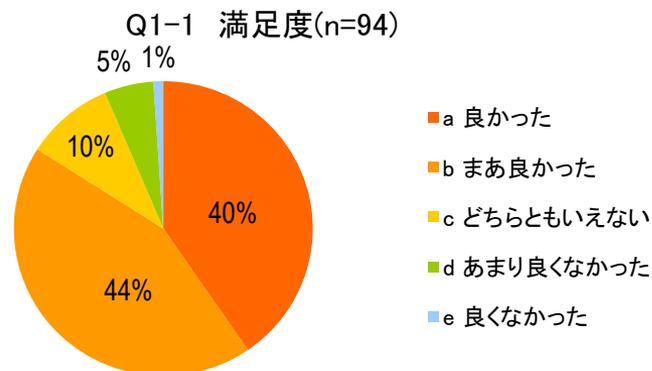
- 完了報告のあった121名の定着度は以下のとおり
- 定着度で「実行できている」「概ね実行できている」=（実行できている 赤い点線）、と高く評価できたのはE：服薬習慣、F：の医療費使用習慣であった。他の4つも5割以上が実行できていた

N=121



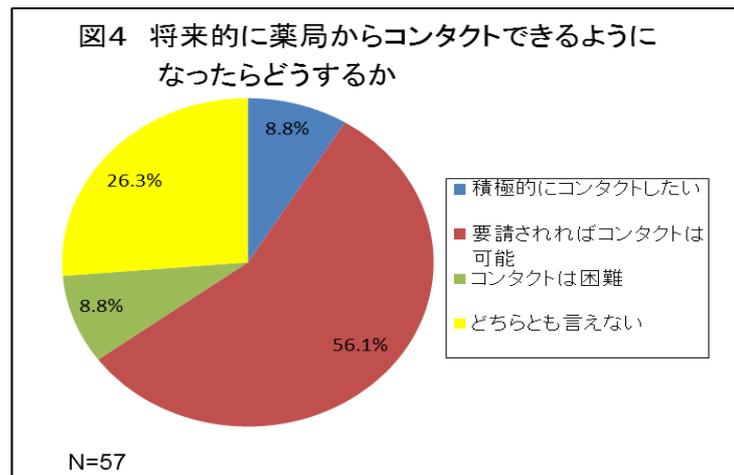
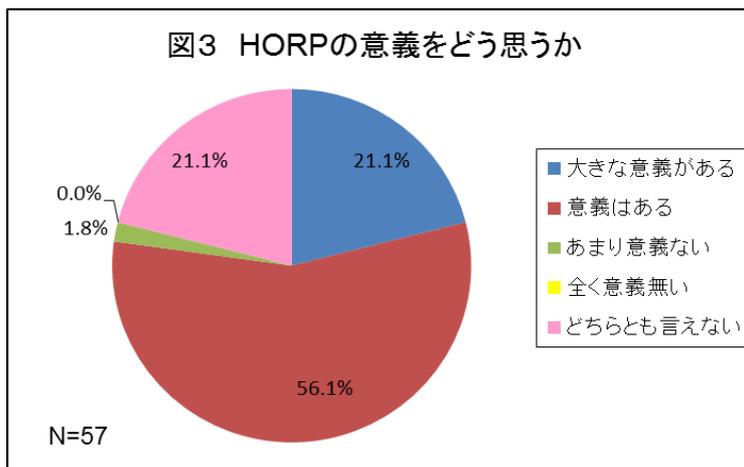
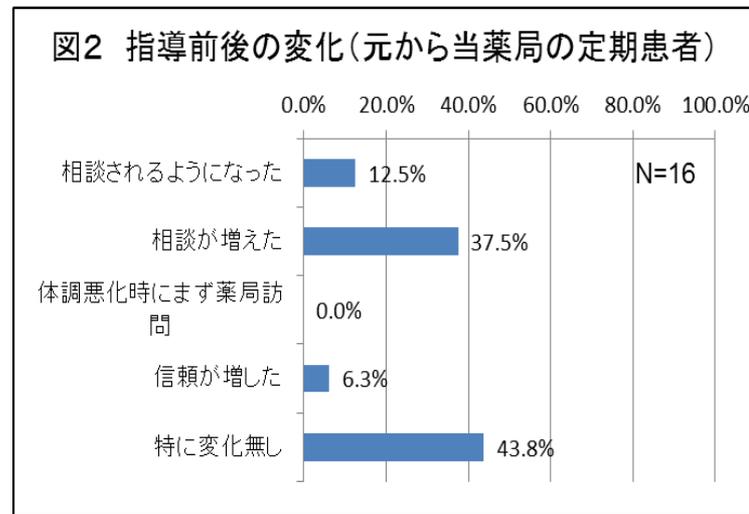
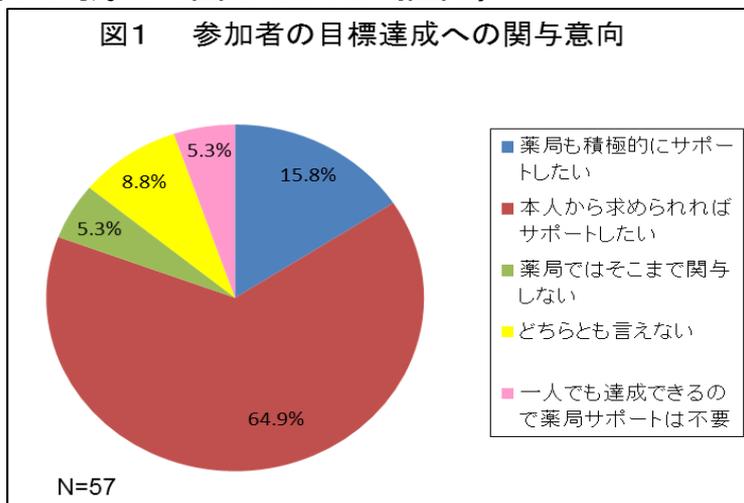
参加者向けアンケート結果の概要

- 参加者へアンケート実施(12月-3月) 主な結果は以下のとおり
- 満足度は84%と高い評価 (Q1-1)。**
また、**今後も薬局を相談相手として考えている方は83% (Q4-4)**



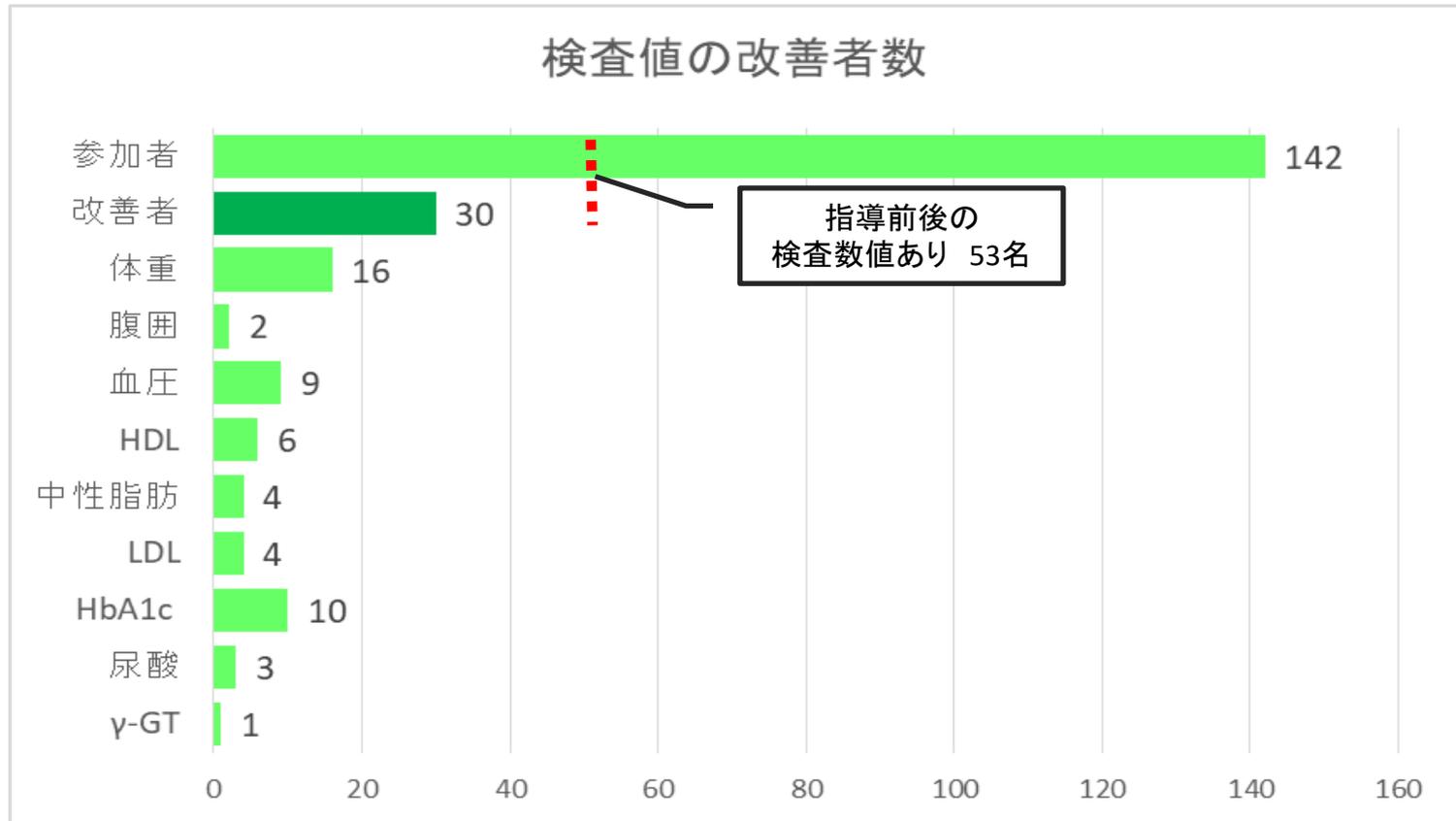
指導実施薬局向けアンケート結果の概要

- 愛知県薬剤師会のご協力を得て、指導を行った薬局向けアンケート実施(2月-3月)
- 参加者の目標達成に向け、80%の薬局が関与の意向を示し(図1)、77%がHORPに対して有意義と回答していた(図3)



検査値(申告)の変化

- 参加者142名のうち、初回面談時より数値が改善された方は30名、全体の21%となった(初回面談時および終了時とも検査数値があった方は53名)
- 30名は全て1回目の募集対象者であり、フォローアップができ4ヶ月で改善されている
- 「体重」は16名で全体の11%が減量できた。-1kg～最大-8kg減量できた方がいた



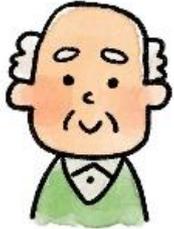
※上記、「改善」とした方は、指導前後で一つの検査項目以上で減少（HDLは増加）した方だが、他の項目で増加（HDLは減少）した方もいる

個別事例

HORP参加者の改善事例

Aさん（男性・65歳）の場合

受診鑑賞



【健康課題】

元々糖尿病の薬をもらっていたが、退職後受診をやめた。健診にて糖尿病・高血圧・高脂血症を指摘される。間食が多く、口渇もありジュース類多飲。薬を服用しなくても大丈夫だと思っていた

**体重-2kg減
血圧・血糖・脂質
γGT全て改善！**

【目標】

6ヶ月後までに、HbA1cを7%以下、LDLを正常化、血圧を130/80にする

【具体的な行動目標】

行動目標①	行動目標②	行動目標③
間食をやめる 飲み物決める	ウォーキングを30分以上やる	薬を飲み忘れない
間食(菓子パン・果物)をやめ、多飲していたジュース類を水・茶・ブラックコーヒーに変更	1日に30分以上のウォーキングをして、1日8,000歩以上歩く	薬を服用することの重要性を理解し、食事前に服用する薬を目の前に準備

【検査値の変化(4ヶ月後)】

指導時の検査数値		指導時の検査数値	
体重	79	体重	77
腹囲	94	腹囲	
血圧	149/108	血圧	140/85
HDL	46	HDL	48
中性脂肪	131	中性脂肪	51
LDL	172	LDL	78
HbA1c	11.3	HbA1c	7.0
尿酸	6.2	尿酸	6.2
γGT	35	γGT	19



Bさん（男性・58歳）の場合

**降圧剤が
なくなる**



【健康課題】

自己判断で血圧が高い時しか飲んでいない。(医師にはできるだけ続けて服用するよう言われている)夏の間は120/70前後だったため服用せず、2ヶ月程度は服用していない。薬は手元に残っているため病院にも受診していない。飲酒は毎日缶ビール350mlと焼酎1杯

【目標】

医師の判断のうえで、頓服服用なのか継続服用なのかを確認し、服薬なしでも血圧が安定するように生活習慣を改める

【具体的な行動目標】

行動目標①	行動目標②	行動目標③
アルコールを減らす	運動する習慣をつける 「動かない時間」を減らす	自分で判断せず、医師や薬剤師と相談する
休肝日を週1日設ける 休肝日前後のアルコール量に注意し、週1→週2を目標にする	自宅に眠っている運動器具を用いて、足踏み運動や腹筋を行う。週3日、30分以上行う	薬を毎日服用し、血圧手帳に記載し医師の診察を受ける。薬をなくす生活改善をする

【検査値の変化(4ヶ月後)】

指導時の検査数値		指導時の検査数値	
体重	75	体重	
腹囲	93	腹囲	
血圧	139/94	血圧	130/80
HDL	57	HDL	
中性脂肪	128	中性脂肪	
LDL	117	LDL	
HbA1c	5.5	HbA1c	
尿酸		尿酸	
γGT		γGT	



HORP参加者の改善事例

Cさん（男性・61歳）の場合

**体重- 8 kg減
禁煙に成功**



【健康課題】

肥満、中性脂肪、糖尿病で服薬中

【目標】

肥満を解消する

【具体的な行動目標】

行動目標①	行動目標②	行動目標③
間食をやめる	30分くらいのウォーキング	タバコを1日20本から減らす
職場での間食をやめる 食事時間を工夫し、お菓子を購入しない	夜のウォーキング 夕食後にウォーキングをすると、食後の血糖値を高くにさせない効果がある	禁煙する 禁煙補助剤や禁煙外来を検討してみる

【検査値の変化(4ヶ月後)】

指導時の検査数値	
体重	102
腹囲	114
血圧	
HDL	42
中性脂肪	226
LDL	130
HbA1c	7.0
尿酸	5
γGT	32



指導時の検査数値	
体重	94
腹囲	
血圧	
HDL	
中性脂肪	
LDL	
HbA1c	
尿酸	
γGT	



Dさん（男性・73歳）の場合

**面談を機に4年ぶりに血液検査実施
中性脂肪、尿酸値改善**



かかりつけ
医と連携

奥様の
協力

【健康課題】

47歳時に痛風発作。以降、痛風薬服薬継続。
2014年以降、血液検査実施していない（かかりつけ医情報）
会社から毎年くる任意の健康診断も受けていない
漠然と同じ薬を長年服用している

【目標】

血液検査をする→結果が出たら、医師に服用薬検討し、中性脂肪と尿酸値を改善する。

【具体的な行動目標】

行動目標①	行動目標②	行動目標③
アルコールを減らす	平日昼食のおかずの揚げ物を減らす	おかずには魚を(特に青魚)を取り入れる
晩酌の焼酎を3杯→2敗にする	お弁当のおかずは揚げ物→野菜の煮物等にする 3回~4回/週取り入れる	奥様に協力してもらって、週に4回魚を食べる

【検査値の変化(4ヶ月後)】

指導時の検査数値	
体重	50
腹囲	
血圧	127/79
HDL	53
中性脂肪	214
LDL	108
HbA1c	
尿酸	7.3
γGT	9

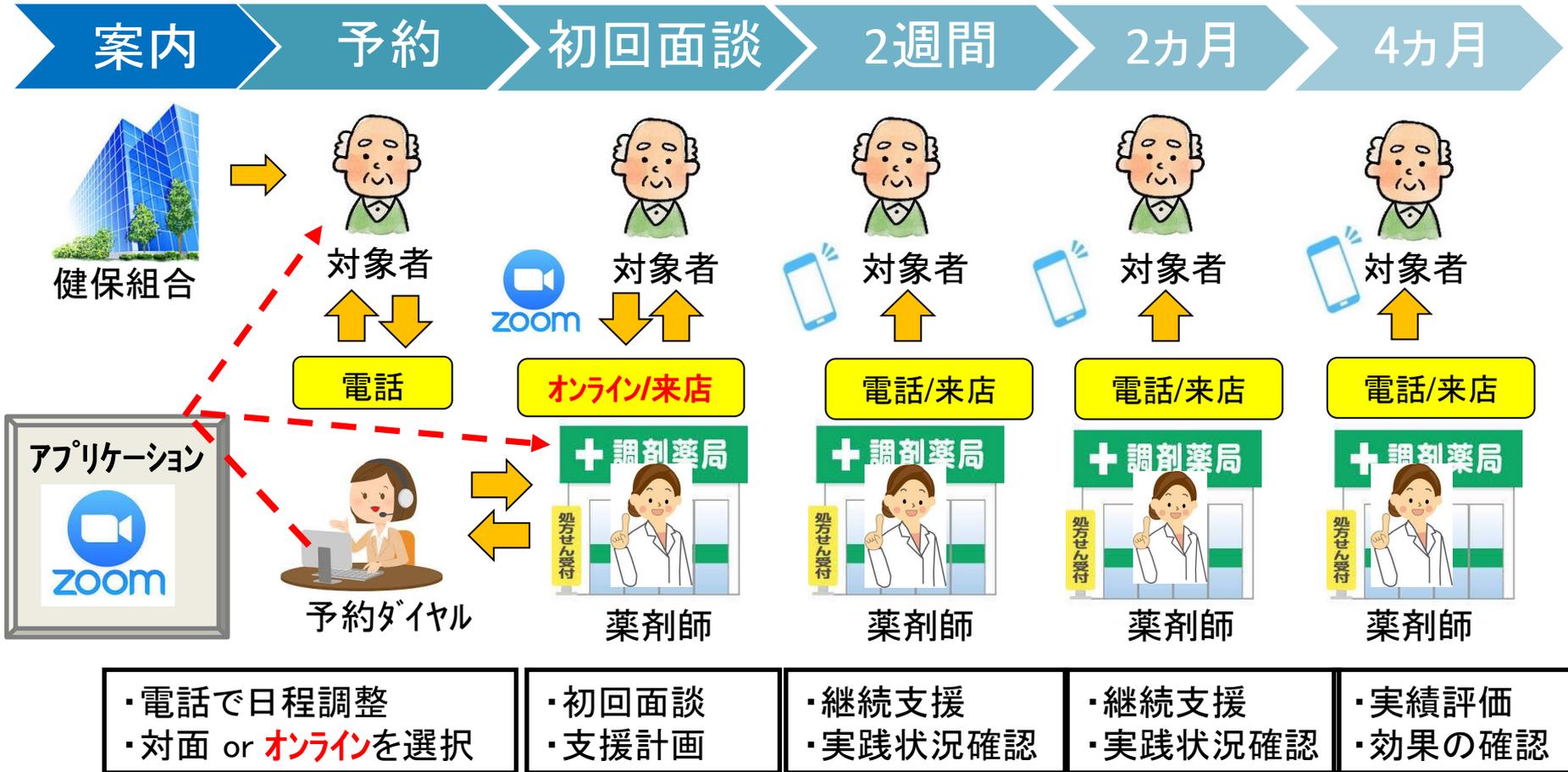


指導時の検査数値	
体重	
腹囲	
血圧	137/70
HDL	65
中性脂肪	109
LDL	97
HbA1c	
尿酸	4.5
γGT	8



まとめ

全体の流れ (OPEN HGRP AICHI)



- | | | | | |
|---|--|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・電話で日程調整 ・対面 or オンラインを選択 | <ul style="list-style-type: none"> ・初回面談 ・支援計画 | <ul style="list-style-type: none"> ・継続支援 ・実践状況確認 | <ul style="list-style-type: none"> ・継続支援 ・実践状況確認 | <ul style="list-style-type: none"> ・実績評価 ・効果の確認 |
|---|--|--|--|---|

スケジュール

通年実施可能



共同事業参加健康保険組合ごとに個別に実施

- 対象者選定 : 7月~8月
- 対象者への案内 : 7月~9月
- 保健指導 (初回面談) : 8月~11月末
- 保健指導 (フォロー実施) : 9月~3月上旬
- 結果報告 : 3月末

- *参加率が低い場合には
対象者への案内文書送付のほかに
 - ・督促はがき
 - ・参加勧奨の連絡
 - ・ICTツールを利用した参加勧奨も可能です

事業者の役割について

	主な役割	想定業務
健康保険組合愛知連合会		代表して契約締結
参加健康保険組合	事業実施	<ul style="list-style-type: none"> ・業務実施に必要なデータ準備 ・案内文書の作成 ・対象者への連絡

	主な役割	想定業務	個人情報取扱
株式会社 インテージテクノスフィア	プロジェクト管理 (全体のスケジュール調整) 主に保険者様に関連する業務	<ul style="list-style-type: none"> ・参加健保との契約締結 ・対象者データの抽出・加工 ・効果測定 ・報告書作成 	あり
株式会社 薬事政策研究所	主に薬局向けに関連する業務	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者と薬局のマッチング ・薬局説明会の開催 ・薬局への参加依頼 ・対象者の指導依頼連絡 ・薬局からの結果連絡とりまとめ 	なし (匿名化)
一般社団法人 愛知県薬剤師会	薬局への事業周知	<ul style="list-style-type: none"> ・薬局への事業周知 	なし
各指導薬局	対象者への保健指導実施	<ul style="list-style-type: none"> ・保健指導の実施 ・対象者へのフォロー 	あり (*対象者から直接取得)

	通常版	OPEN HORP版
データ管理・進捗管理費用	30万円	10万円
指導費用 (* 初回面談実績1人当たり)	30,000円	25,000円
面談	1回	1回
指導期間	4か月	4か月
指導場所	薬局	薬局
電話フォロー	3回 (2週間後、2カ月後、4カ月後)	3回 (2週間後、2カ月後、4カ月後)
指導者	薬剤師 (一部店舗は管理栄養士)	薬剤師 (一部店舗は管理栄養士)
抽出方法	レセプトから 対象者抽出	標準 (健保個別実施)
提供データ	適用 レセプト	対象者リスト 健診結果
対象者抽出	○	○
保健指導	○	○
個別報告書	○	○

オプション:印刷・封入封緘・発送・督促 レセプトを用いた効果測定(医療費)・特定保健指導(モデル実施)

参考価格

● 小規模健保（参加5名程度）

* 税抜

データ管理料 12.5万

指導実施料 10万

計22.5万円

● 中規模健保（参加30名程度）

データ管理料 10万

指導実施料 75万

計85万円

納品物

- ・業務実施報告書
- ・個別面談結果(個人別)

まとめ

前期高齢者
納付金対策

被扶養者
健康管理

服薬者
重症化予防

調剤医療費適正化
(後発品・多剤服用等)



データヘルス計画（加算減算指標）対応

- ★ 大項目 3 - ③、2 - ④：糖尿病性腎症等の生活習慣病の重症化予防の取組
- 大項目 5 - ③：加入者の適正服薬の取組の実施

愛知から広がる、薬局を活用した新しい事業
HORP愛知をご活用ください！

【共同事業参加についてのお問い合わせ】

株式会社インテージテクノスフィア

事業推進二部

e-mail : hctech-sales@intage.com

TEL : 042-423-1128 (担当 : 村田)



株式会社インテージテクノスフィア

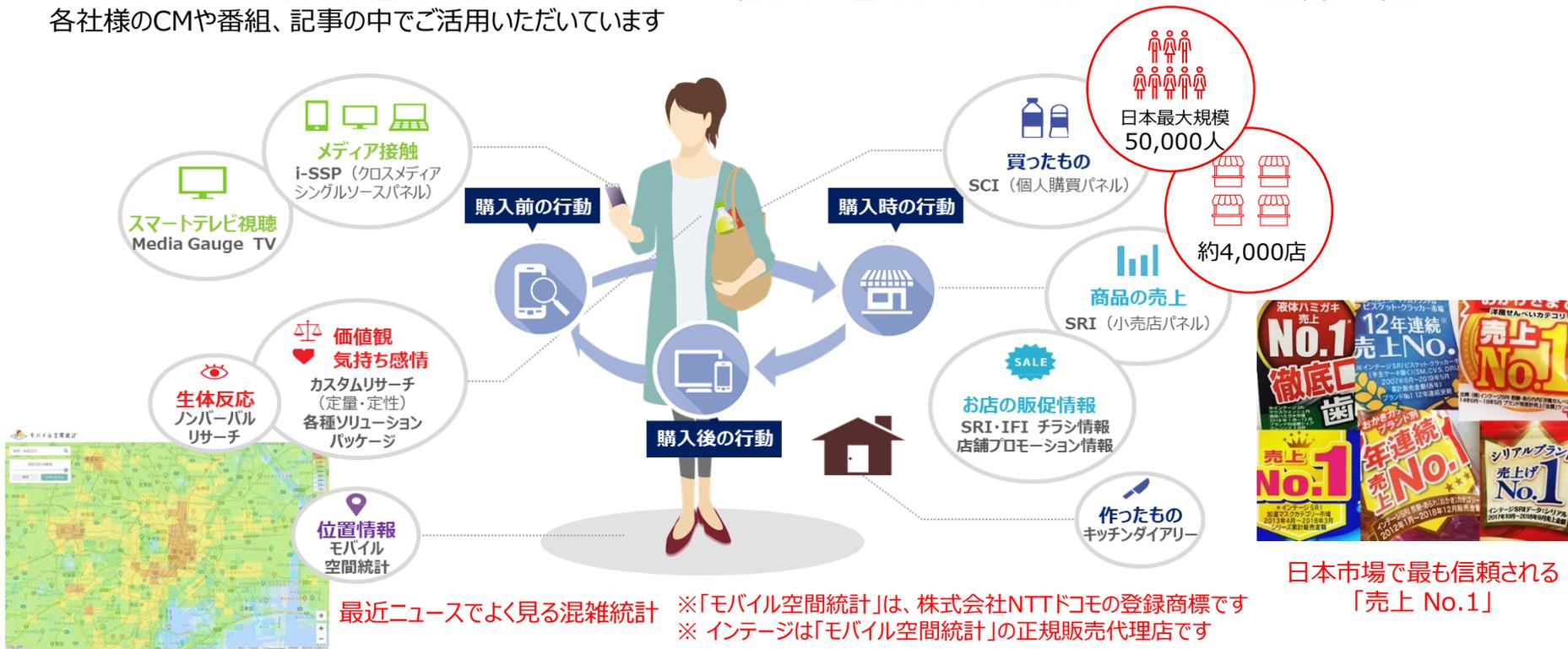
www.intage-technosphere.co.jp/

会社概要 株式会社インテージテクノスフィア

社名の由来	技術、叡智が蓄積された無限に広がる球体
設立	2014年4月1日
代表者	代表取締役社長 酒井 和子
資本金	1億円
売上高	11,036百万円（2024年6月期） * 2023年7月1日～2024年6月30日
出資会社	株式会社インテージホールディングス 100%
従業員	485名（2024年7月1日時点）
事業概要	リサーチ系システムの開発、業界別ソリューションの提供
URL	https://www.intage-technosphere.co.jp/
本社	〒188-0001 東京都西東京市谷戸町2-14-11 TEL：042-423-1156 FAX：042-423-1179
長野事業所	〒380-8581 長野県長野市稲葉上千田沖318 TEL：026-227-5111 FAX：026-227-5380
長野駅前事業所	〒380-0823長野市南千歳一丁目12番地7 新正和ビル2階 TEL：026-227-5116 FAX：026-227-5382

インテージグループは「生活者を最もよく知る企業」

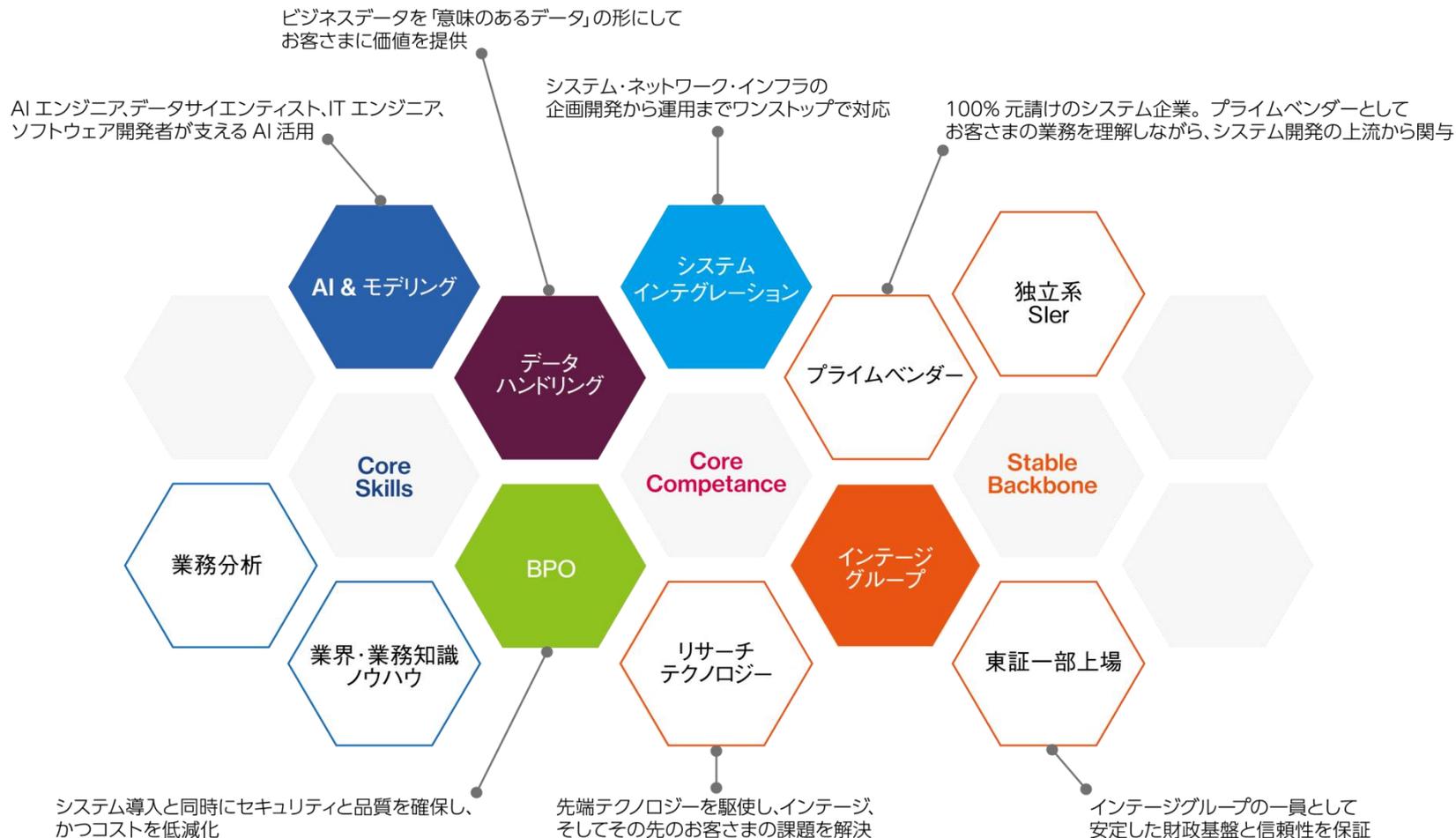
日本最大のリサーチデータ、リサーチ・プラットフォームを揃え、「どの商品がいつからどのくらい売れているのか」「どんな人が買っているのか」等、市場推移やブームの兆しなど、生活者を360°理解できるデータ・幅広く深い生活者インサイトを提供し、クライアント企業様や報道機関 各社様のCMや番組、記事の中でご活用いただいています



日本市場で最も信頼される
「売上 No.1」

コアコンピタンス

AI & モデリング × データハンドリング × SI × BPO で お客さまのビジネス課題に最適な技術とスキルでソリューションを提供



循環型コラボヘルス推進サービス

人事施策/健康管理の効果測定
⇒次の事業計画策定へ

オーダーメイド型の分析ソリューション

- 受託型オーダーメイド分析
(効果測定によるROIの測定)
- WEB型オーダーメイド分析ソフト
(すこやかEBA)
- 各種システム対応



効果測定

企業内リスク/生活習慣改善/疾病リスクに応じたサポートメニュー

『リスク』の気づき、『生活習慣改善』を支援

- すこやかサポート21産業保健スタッフ機能 (健康管理の業務効率化)
- 受診勧奨サービス (ハイリスク未受診者への受診勧奨)
- 重症化予防サービス (治療群・コントロール不良者への介入・専門医紹介)

Target!



はかる 1

計画

目的に応じたデータ収集を実施

既存の課題認識に基づき
基礎データ調査を実施

- 顧客満足度調査(CS調査)
- 従業員満足度調査(ES調査)
- 弊社モニターとの比較調査
- 各種データの整理・統合

認知!

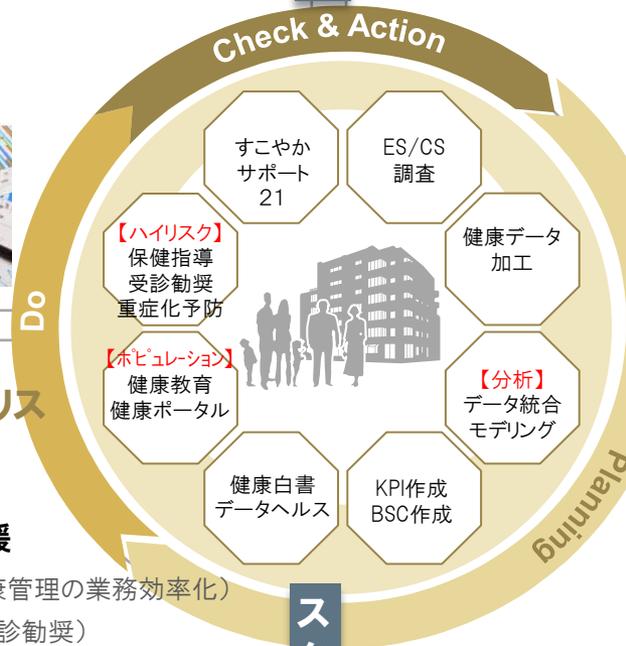


企業情報/健康情報

多種データの分析により
課題明確化

従業員の心理状態・健康状態を深く知り、
各種リスクや改善策など、労働生産性向上に資する資料を作成

- 企業データ分析によるKPI作成
- 健康データ分析による健康白書作成
- データサイエンティストによる人財モデル作成
- 健康宣言への各種コンサルティング
(人事・健康づくり)



スクリーニング

かえる 2